

# 【技術・家庭（技術分野）・中1・材料と加工の技術】①

## 育成を目指す資質・能力

- （知識及び技能） 製作に必要な図のかき方、安全・適切な政策や検査・点検等ができる技術を身に付けている。
- （思考力、判断力、表現力等） 問題を見いだして課題を設定し、成形の方法等を構想し、設計を具体化するとともに、製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。
- （学びに向かう力、人間性等） よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。

## ICT活用のポイント

生徒や教師の「考えの共有のしやすさ」

### 【つかむ】

「自分の生活の問題」と「整理したいものとそのサイズ」を確認する。

生活の問題を解決するような製作品の構想を改善・修正しよう。

### 【追究する】

- ①作品の構想図をかく。
- ②ペアでチェックをし合う。
- ③全体で意見交流を行う。
- ④個人で改善・修正する。

### 【まとめる】

次時の目標を立てる。

## 事例の概要

- 前時で作成した「実物模型」や画像データから「サイズ感」、「片付けたいものの組み合わせ」、「片付けたいものの収納」「材料の有効活用」の視点に重点を置いて取り組んだことを確認する。
- 自分の生活の中の問題から「整理したいものとそのサイズ」を基に、問題を解決するための製作品の構想について、改善・修正を行う。

### 【事例におけるICT活用の場面①】

- ワークシートに記入した構想図を撮影し、最適化の視点を踏まえて構想を発表し、考えを全体で共有する。

### 【事例におけるICT活用の場面②】

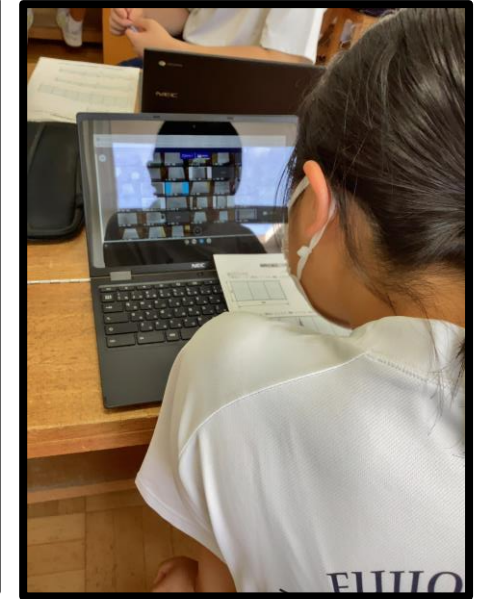
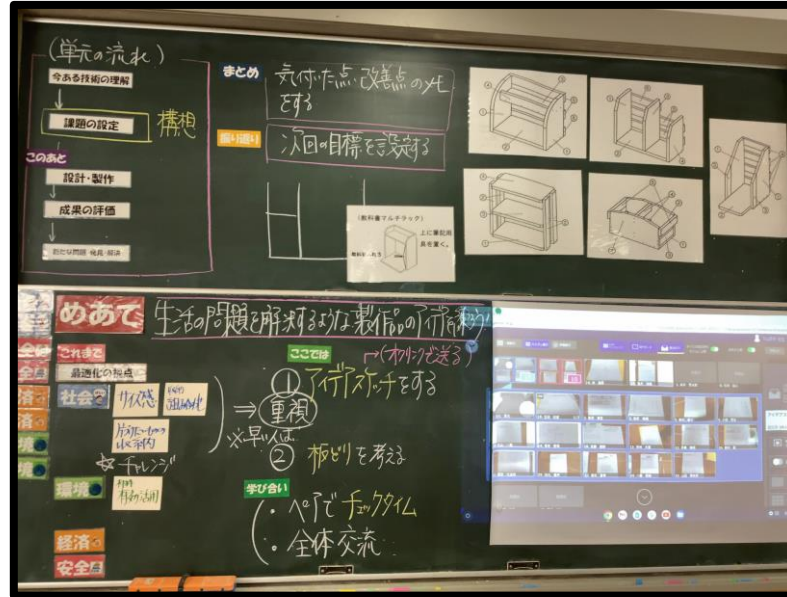
- 生徒が設定した課題ごとに分類し、一覧表示された構想図を見ながら、改善・修正を行う。

# 【技術・家庭（技術分野）・中1・材料と加工の技術】②

## 【事例におけるICT活用の場面①】



## 【事例におけるICT活用の場面②】



追究する場面で、個人で作成した構想図を撮影し、学習支援ソフトを用いて、全体共有した。

### ①協働的な学び

- 教師が端末の一覧表示で、生徒1人1人の考えを見取り、「最適化の視点」でまとめることができている生徒の考えを、全体で共有することにより、生徒が「最適化の視点」に沿って構想することの必要性を確認することができた。

### 【活用したソフトや機能】

- ・学習支援ソフト（データ提出・受信・一覧表示）

### ②協働的な学びから、個別最適な学びへ

- ・教師が生徒の構想図を設定した課題を基に分類し、全体に提示することによって、生徒が自分と同じ考えをもってかかれた構想図と自分の構想図を比較することができ、新たな気づきを得たり、改善点を見つけやすくなった。また、自分と考えが異なる構想図を見ることで、より「最適化の視点」に沿って、改善点を見つけることができた。
- ・端末を使い、構想図の比較や考えの共有を行うことで、生徒が構想の改善・修正のための十分な時間を確保することができた。